



APPENDIX

FINANCIAL RESULTS FOR 1ST QUARTER 2017

会社概要

COMPANY OVERVIEW

(2017年3月末時点)

設立	株式会社ガイアックス (Gaiax Co.Ltd.)	加盟団体	一般社団法人シェアリングエコノミー協会 代表理事 一般社団法人 日本ブロックチェーン協会 理事
設立	〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-3	従業員	410人(連結・正社員)
設立	1999年3月5日	決算	12月
上場	名古屋証券取引所セントレックス市場	資本金	100百万円
代表者	代表執行役社長 上田 祐司	発行株式数	5,147,752株
事業内容	ソーシャルメディア・シェアリングサービス事業、 インキュベーション事業	株主数	3,072名(2016年12月末時点)

連結子会社



GX Incubate



XSTARTUP SINGAPORE PTE. LTD.



GaiaX Global Marketing & Ventures Pte. Ltd.

他 合計18社

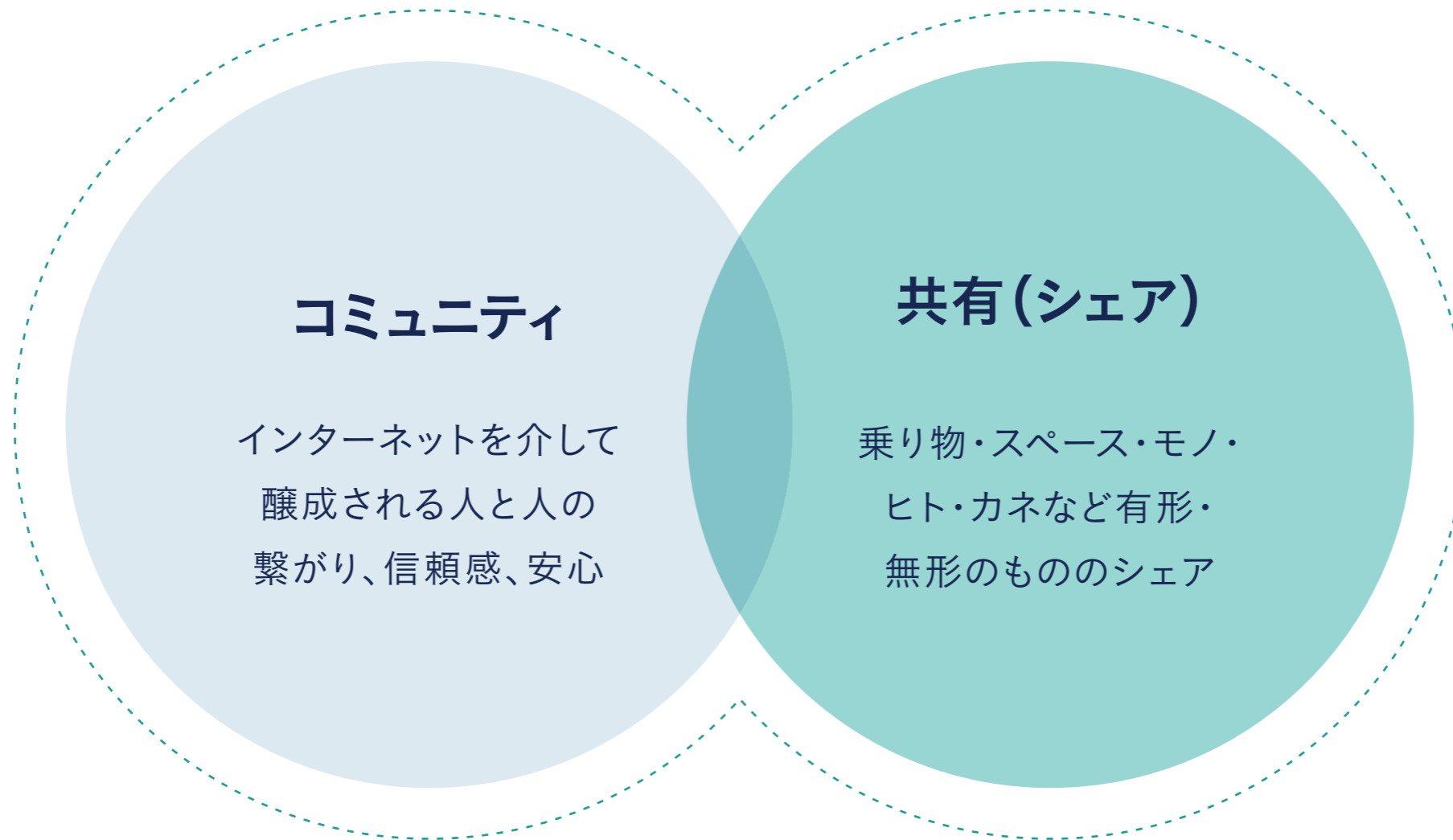
- シェアリングエコノミー
- 当社の優位性と、市場への取り組み
- シェアリングエコノミー協会の活動
- インキュベーション事業投資先の紹介



APPENDIX

シェアリングエコノミーとは？

WHAT IS SHARING ECONOMY?

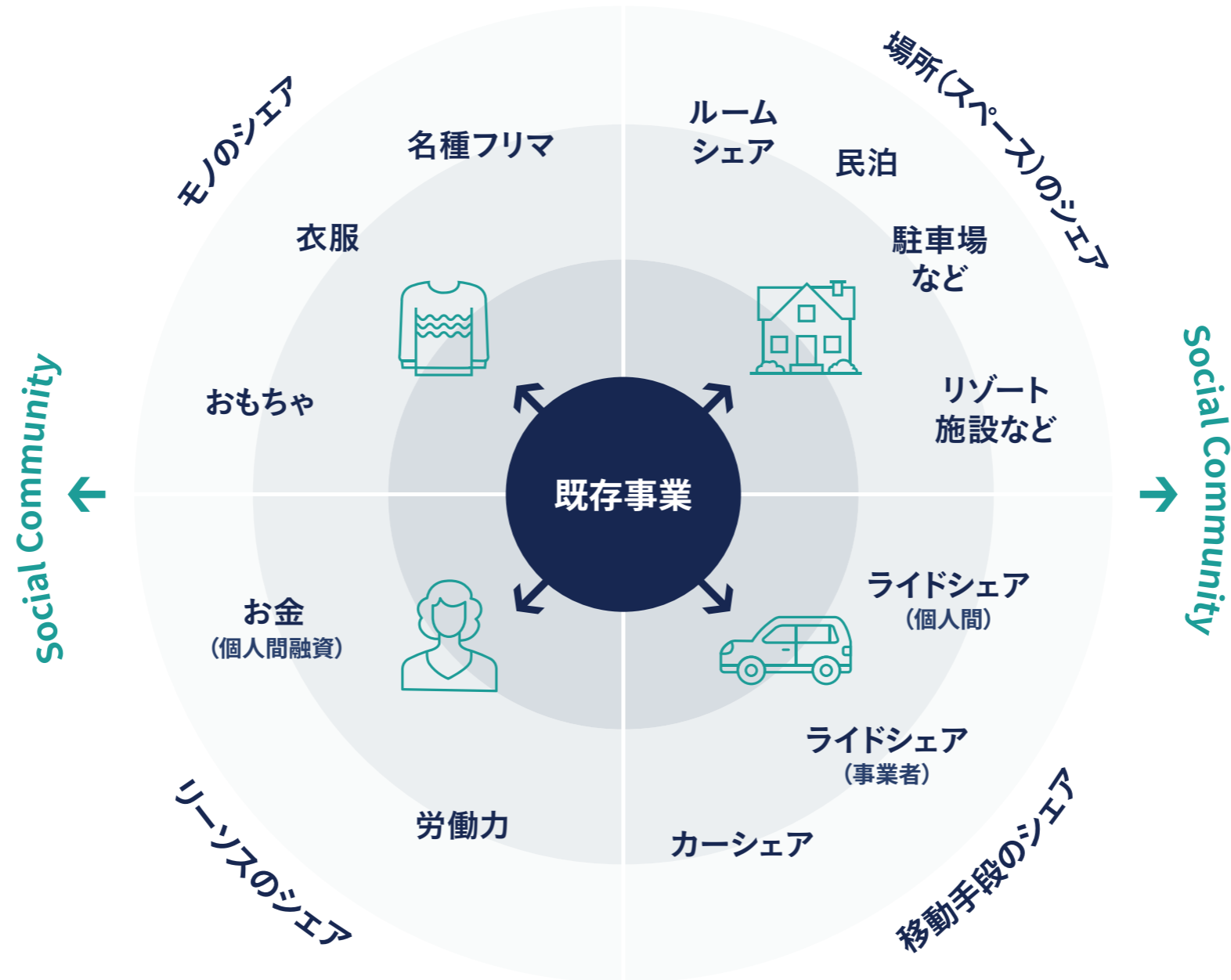


シェアリングエコノミー

インキュベーション事業における今後の重要な投資分野

拡大するシェアリングエコノミー領域

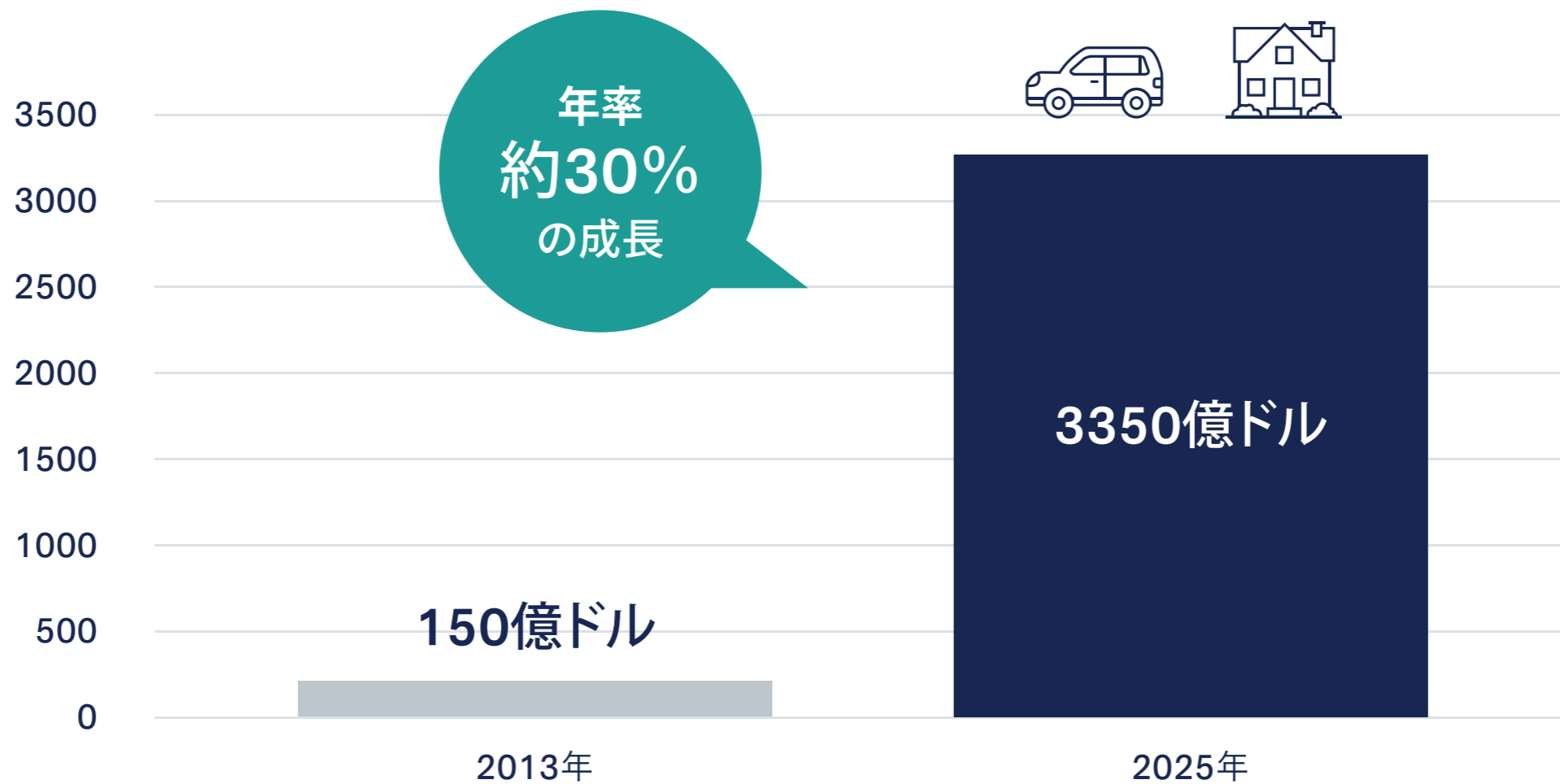
THE EXPANDING OF SHARING ECONOMY



拡大するシェアリングエコノミー市場

EXPANDING OF THE SHARING ECONOMY MARKET

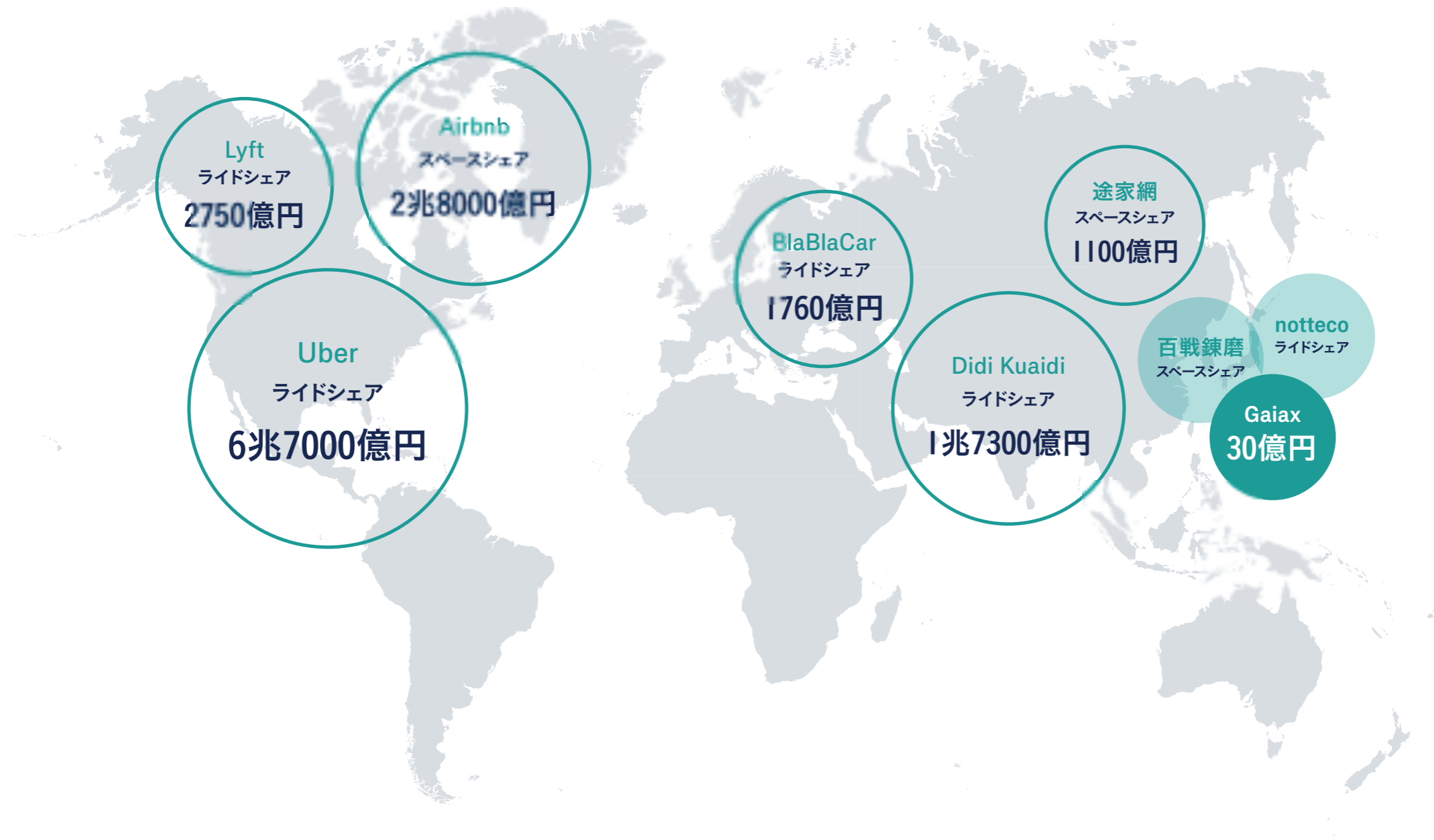
シェアリングエコノミーの世界市場規模の予想



出所:総務省「情報通信白書 平成27年版」

世界で活躍するシェアリングエコノミー企業

MAJOR SHARING ECONOMY COMPANIES IN THE WORLD



※金額は各社の企業評価額で、直近の資金調達の際の評価額(1USD=110円で換算)

- シェアリングエコノミー
- 当社の優位性と、市場への取り組み
- シェアリングエコノミー協会の活動
- インキュベーション事業投資先の紹介



APPENDIX

シェアリングエコノミー市場で、多様な収益拡大・機会を創出

DIVERSE REVENUES AND OPPORTUNITIES FROM THE SHARING ECONOMY MARKET



インキュベーション
事業でのキャピタルゲイン



ソーシャルサービス
事業の収益拡大

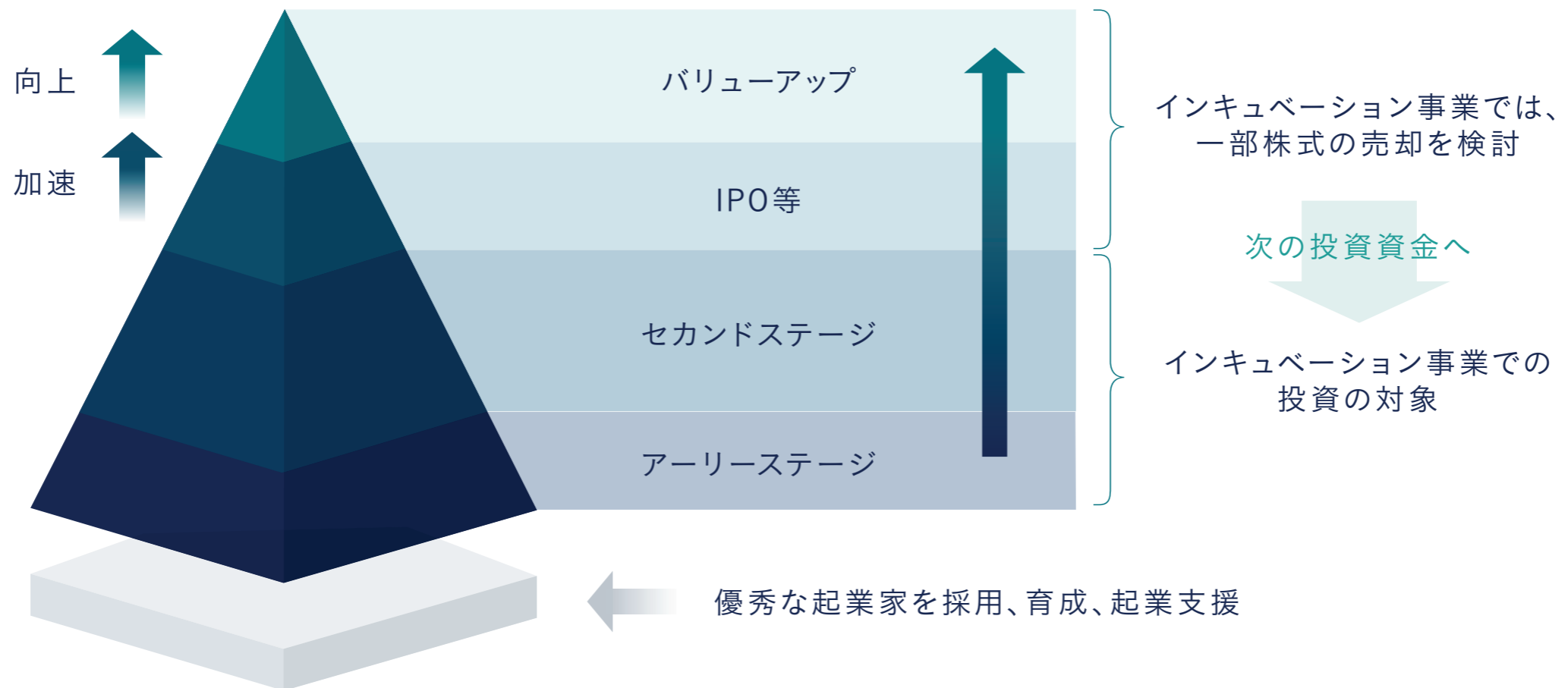


新規事業とのシナジー
創出による収益拡大

インキュベーション事業 ステージ別の取り組み

INCUBATION BUSINESS STAGES

当社事業とのシナジーによる成長スピードの
加速とさらなる企業価値の向上



Gaiaxグループの有する各種流動性を活用し、投資を実施

FOCUS ON INCUBATION BUSINESSES

当社グループの有する各種の流動性

保有現預金

ファイナンス
による調達資金

営業投資有価
証券の評価
(時価)

SHARING
ECONOMY
FUND

流動性を原資として、さらなる事業拡大・成長に向けた投資を実施

新規事業・サービス開発

シェアリングエコノミー領域

訪日インバウンド領域

インキュベーション事業 現在のパイプライン

INCUBATION BUSINESS / PRESENT PIPELINE



グループ内



食のシェア



地域体験のシェア



ライドシェア



デジタル身分証

2015年9月 東証マザーズ上場

グループ外



外国人との体験シェア



ファッションフリマアプリ



シェアサイクル



会議室シェア



美容のシェア



ランニングのシェア



スペースシェア



LGBT事業



寺社民泊寺社体験



海外向けEC展開
クールジャパン機構出資



才能のシェア



ペット版民泊



縫製プラットフォーム



美容医療のメディア



スマートロックジャフコ、
YJキャピタル出資

2015年10月 東証マザーズ上場



オーガニックEC事業



親子のお出かけメディア



海外ツアープランのシェア



民泊



国内最大級の人間
ドックサイトの運営

※掲載投資先は全投資先ではなく一部です。投資先の主要な動きについては、巻末の「インキュベーション事業 投資先の紹介」をご覧ください。

- シェアリングエコノミー
- 当社の優位性と、市場への取り組み
- シェアリングエコノミー協会の活動
- インキュベーション事業投資先の紹介



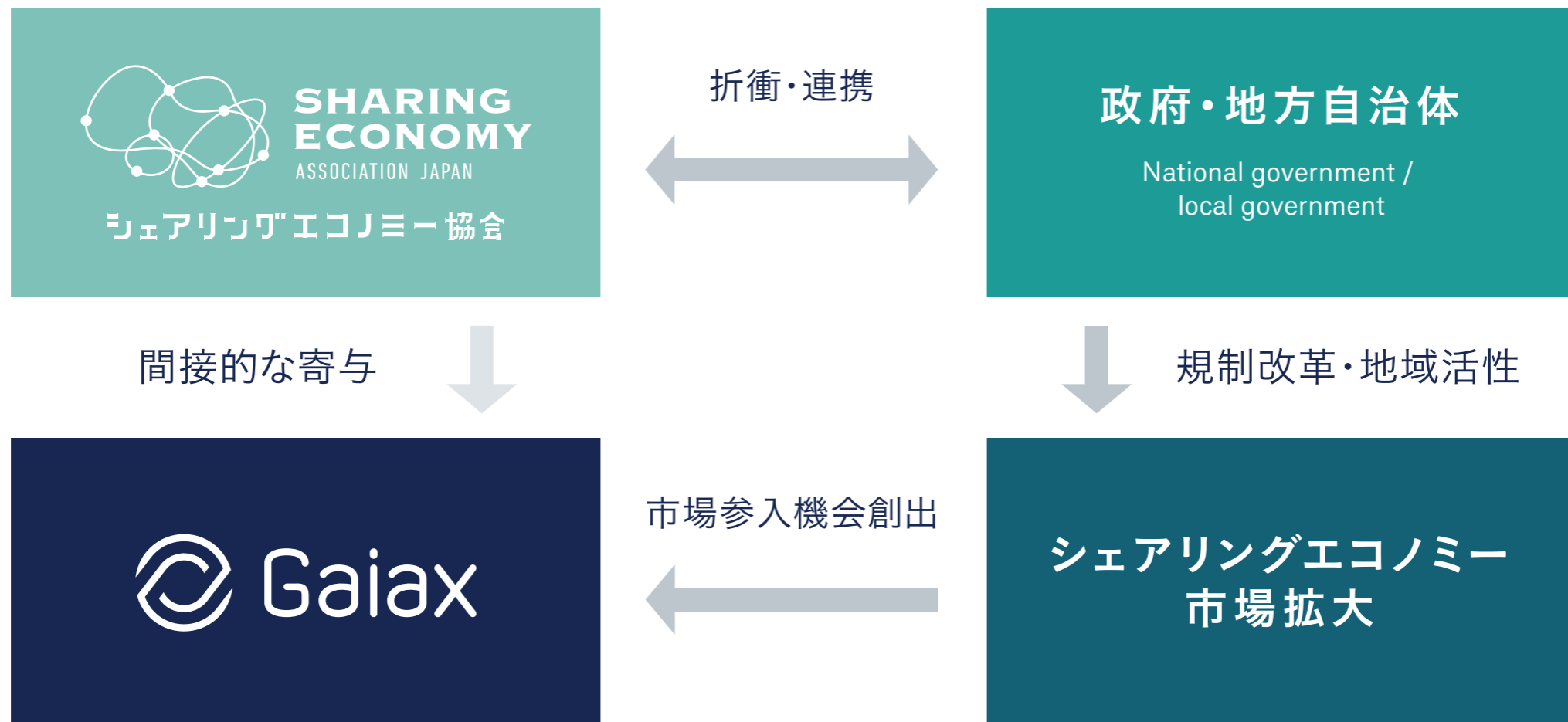
APPENDIX

シェアリングエコノミー協会とは

SHARING ECONOMY ASSOCIATION

2016年1月、一般社団法人シェアリングエコノミー協会を設立し、代表理事に就任

シェアリングエコノミーの普及・啓蒙が目的。シェアリングエコノミー市場の拡大は当社にとって間接的な利益に。

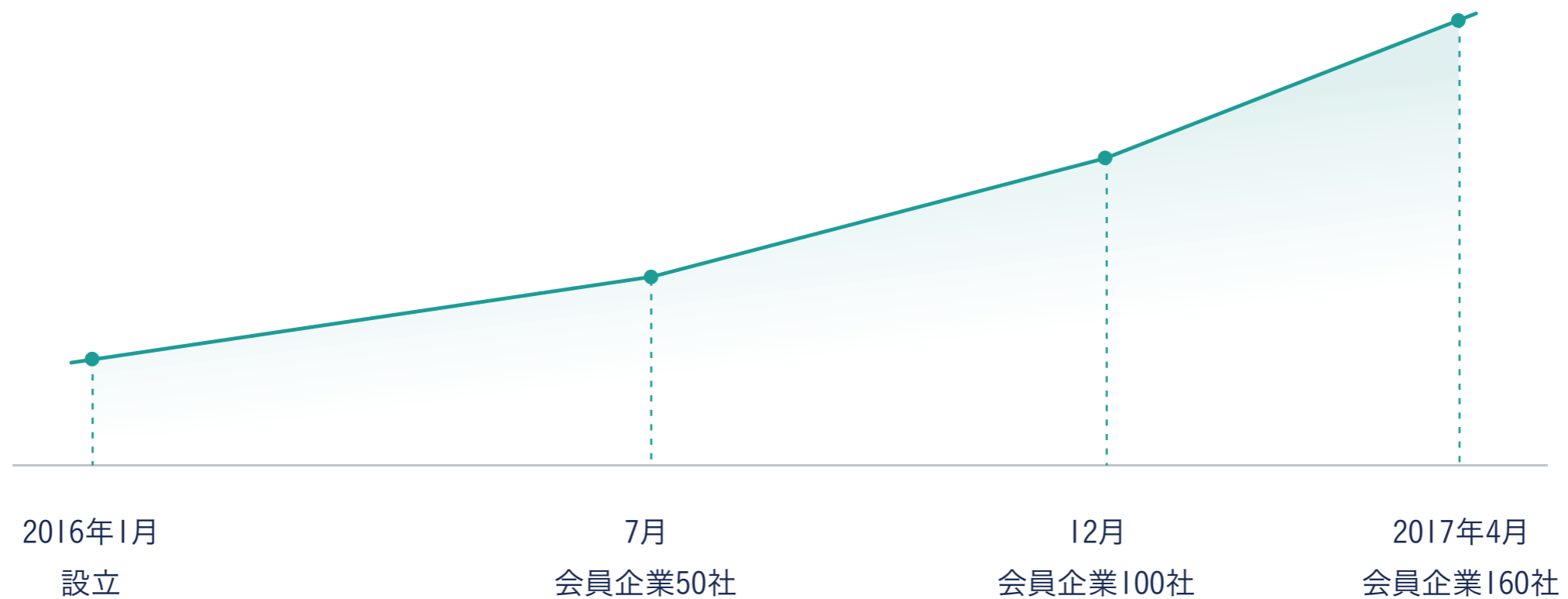


シェアリングエコノミー協会 会員企業数の推移

SHARING ECONOMY ASSOCIATION MEMBERS



2017年4月には会員数が160社を突破



シェアリングエコノミー協会 普及、環境整備に向けた取り組み

PROMOTING SHARING ECONOMY

シェアリングエコノミーの普及・啓蒙や法整備に向けた活動を、
シェアリングエコノミー協会を通じて実施

シェアリングエコノミー認証委員会



事務局 シェアリングエコノミー協会

第1回 3月18日・第2回 4月10日・第3回 5月下旬予定(中間報告)

実証実験を実施

認証マークのヒアリング項目のドラフトを作成。

精査のためシェアリングエコノミー協会会員のサービスを対象に実証実験を実施。

6月から認証マークの申請受付実施予定

5月下旬の中間報告時にヒアリング項目を確定し、実際に認証マークの申請受付を開始する予定

シェアリングエコノミー国際規格策定会議

Sharing Economy International Standards Meeting

日程 4月22日～24日



シェアリングエコノミーの国際規格策定を目指す

シェアリングエコノミーの規格が定まることで、いっそうのサービス浸透・一般化を狙う

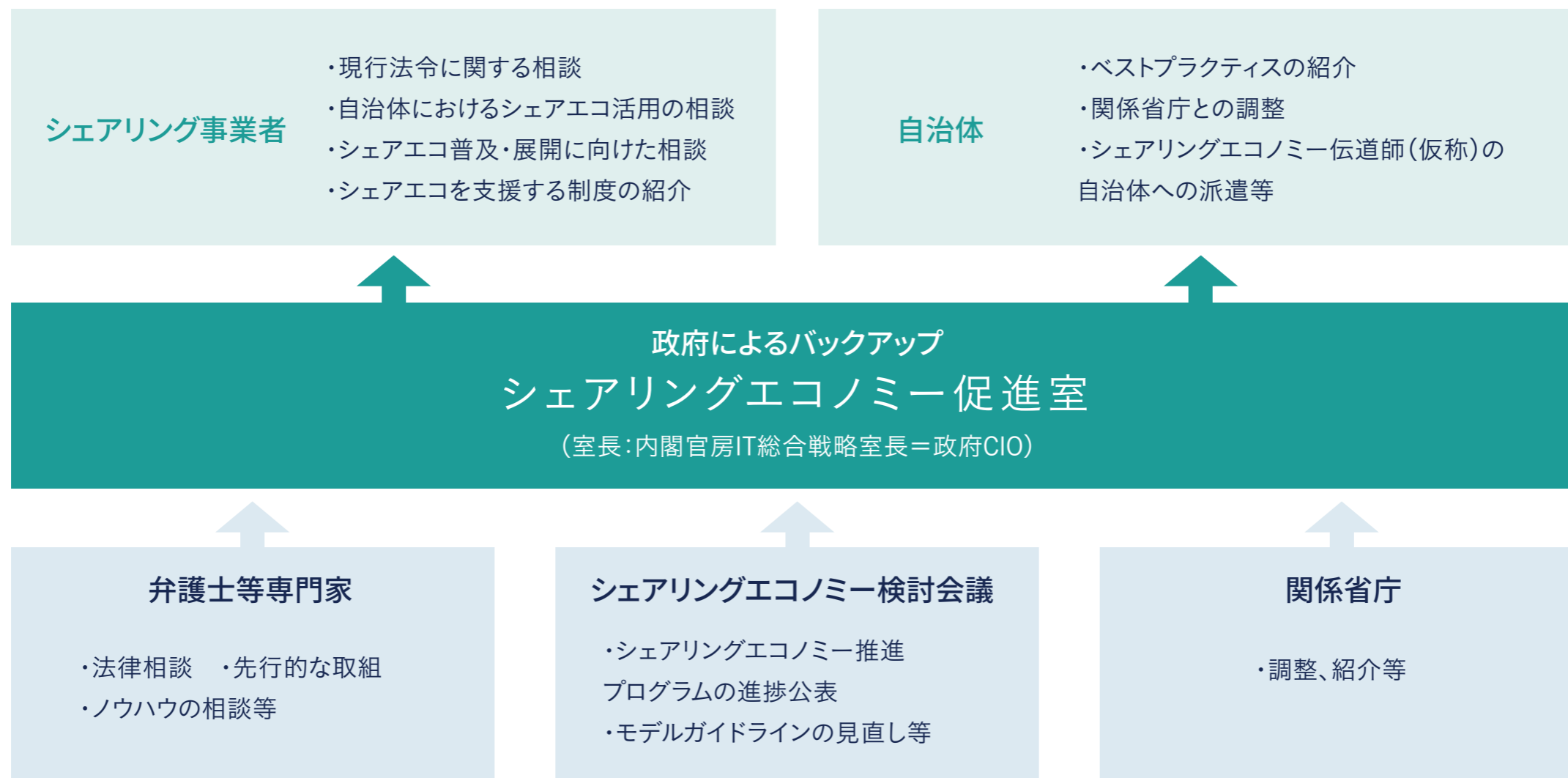
シェアリングエコノミー協会 シェアリングエコノミー促進室

SHARING ECONOMY PROMOTION



2017年3月、内閣官房がシェアリングエコノミー伝道師を任命

当社社員がシェアリングエコノミー伝道師として任命されました。



シェアリングエコノミー協会 シェアリングシティ

SHARING CITY

現在、50を超える自治体からシェアリングシティにつきアプローチを受けている

これまで

現状

これからの未来



シェアリングサービスにより
住民が住民を助ける



ご参考 海外でのシェアリングシティ推進

FOREIGN CASE STUDIES OF SHARING ECONOMY DEVELOPMENT

行政主導型 / ソウル市が主幹

- 2011/10 市民団体の代表等を務めてきたパク・ウォンスン氏がソウル市長に就任
- 2012/9 「シェアリングシティ・ソウル」宣言
- 2012/12 「ソウル特別市共有促進条例」を制定し、「シェアリング」の定義や今後の方針を明示
- 2014 自治体(市内25区)へ補助金を助成し、各区が民間のシェア取り組みをサポート
- 2015 市内の中学校・高校でシェアリングエコノミーに関する教育を導入
- 2016/11 ヨーテボリ持続可能発展賞受賞



民間主導型 / 民間団体「shareNL」が主幹

※オランダにおけるシェアリングエコノミー協会

- 2013 ShareNLが設立される
- 2015/2 「アムステルダム・シェアリングシティ」宣言
- 2015/4 「アクションプラン」発表



- シェアリングエコノミー
- 当社の優位性と、市場への取り組み
- シェアリングエコノミー協会の活動
- インキュベーション事業投資先の紹介



APPENDIX

グループ内

INTERNAL BUSINESS

日本最大級の相乗りマッチング型 ライドシェアサービス

ドライバーが、ドライブ情報と車の空き座席数を事前に掲載することで、同じ区間を移動したい希望者がドライブに相乗りできるサービス。
海外最大手のBlaBlaCarは、世界約20か国で2000万人以上のユーザーに利用され、企業評価額も12億ドルとも言われており、将来性が非常に期待されるサービスとして大きな注目を集めている。

直近の動き

- 2017/1/17 日本初の地方都市専用長距離ライドシェアサービス展開に向け北海道天塩町と提携
- 2017/3/12 北海道天塩町との実証実験を開始



グループ内

INTERNAL BUSINESS

地元の人と交流ができる地域体験 予約サイトを運営

その地域の暮らし、食、芸術、技術を、地元の人から学ぶことができる、体験予約サイト「TABICA」を運営。

2015年1月にサービス提供を開始。「その地域ならではの暮らし」を見える化し、誰もが体験できる、地方活性化に繋がるサービスを目指す。

2016年11月には、シェアリングシティ宣言自治体との提携を実施。各自治体に対し、集客や体験主催のノウハウを提供し、公助から共助への動きに貢献。

直近の動き

- 2016/11/2 埼玉県横瀬町の官民連携プラットフォーム「よこらぼ」のプロジェクトに採択
- 2016/11/24 千葉県千葉市、静岡県浜松市、佐賀県多久市、長崎県島原市と連携
- 2017/2/24 総務省 ICT地域活性化大賞2016にて「奨励賞」を受賞
- 2016/2/24 経済産業省 IoTを活用した新ビジネス創出推進事業 (IoT活用おもてなし実証事業)「ローカルプラットフォーム」実証に採択



グループ内

INTERNAL BUSINESS

外国人先生による家庭料理教室

日本に住む外国人が、彼らの自宅で自国の家庭料理を教える、料理教室のマッチングプラットフォームのサービス。

世界中の人々がもっている「料理をする」「食べる」という文化を通して、国際交流を行う。

海外旅行・ホームステイに変わる、手軽な国際交流・異文化体験の「半日ホームステイ」という新たな経験の提供。

直近の動き

- 2016/10/31 10月末時点でホスト数は半年で約400%成長、ホストは63ヶ国までカバー
- 2016/12/17 東京メトロの経営資源活用コンテストにて「東京メトロアクセラレーター賞」を受賞
- 2016/12/31 12月末時点でホストは70ヶ国、190名以上に



グループ内

INTERNAL BUSINESS

ブロックチェーンを使ったデジタル身分証

履歴情報の保存に長けているブロックチェーン技術を活用することで、セキュアなデジタル身分証の技術基盤を確立。

TRUST DOCKのデジタル身分証基盤を複数社で共有し、サービス利用者が一度の会員登録をするだけで複数サービスを横断して利用可能な状態となるよう目指す。

現在はシェアリングエコノミーサービスを提供する事業者を中心に販路を開拓しているが、デジタル身分証の適用範囲を広げていく計画。

直近の動き

- 2016/12 デジタル身分証「TRUST DOCK」リリース
- 2017/1 ブロックチェーンISO国際標準化 国内検討委員に就任
- 2017/2/28 総務省「IoTサービス創出支援事業」に採択



グループ外（シェアリングエコノミー関連）

EXTERNAL INVESTMENT

国家戦略特区法を活用した民泊サービスを展開

完全子会社・とまれる株式会社にて、国家戦略特区を活用した民泊サービス「STAY JAPAN」と、復興庁東北先導モデル事業である農林漁家宿泊予約サイト「とまりーな」を提供。

また、スポーツイベントのマッチングサイト「JOINTly SPORTS」、JAグループ主催の農業関連イベントのマッチングサイト「JOINTly GREEN」も提供。

2016年4月には、その将来性を評価され、(株)海外需要開拓支援機構(クールジャパン機構)、京王電鉄(株)等から、総額約14億円の資金調達を実施。

直近の動き

- 2016/10/11 NTT西日本と「民泊サポートパック」を試験提供
- 2016/10/27 ANAセールスと「体験型民泊」で協業開始
- 2016/11/2 JAL×農協観光×百戦錬磨コラボ動画コンテンツ公開
- 2017/2/14 京王電鉄と協業し、民泊専用新築1棟マンションの宿泊予約開始
- 2017/4/4 長崎県平戸市と観光まちづくりを目指し事業提携
- 2016/4/13 株式会社ジャルパックと提携し、民泊とJAL航空券を組み合わせたJALダイナミックパッケージを提供開始



グループ外（シェアリングエコノミー関連）

EXTERNAL INVESTMENT

空きスペースを商用貸出できるスペース シェアや、駐車場シェアを展開

1日からお店やイベントを開けるスペースを探せる、マッチングサービス『軒先ビジネス』を展開。「軒先から始めよう、最初の一步」をミッションに、誰でも1日単位でお店を開くことが可能で、起業環境の改善を図ることを目指す。

また『軒先パーキング』では、駐車場を所有しているオーナーと、外出先で駐車場を利用したいユーザーをマッチング。駐車場の空き時間登録だけで、空き時間のみ予約可能なコインパーキングとして貸し出すことが可能。利用ユーザーは、出かける前の予約で、外出先での駐車場探しに困ることもなくなります。

直近の動き

- 2016/10/18 日本ユニシスと飲食業向けスペースシェアの市場拡大を目指し協業
- 2016/11/1 (株)シーアールイーと不動産の有効活用につき提携
- 2016/12/7 (株)スペイシーとスペースシェアサービスの利用拡大を目指し協業
- 2016/12/15 西武信用金庫と遊休不動産活用の活性化を目指し業務提携
- 2017/2/16 ジェイレックス・コーポレーション(株)と不動産開発におけるスペース活用につき提携



グループ外（シェアリングエコノミー関連）

EXTERNAL INVESTMENT

累計利用者数30万人の会議室シェアサービスを展開

“簡単・便利・安い”を合言葉に、ビジネスミーティングに適した場所を提供する会議室のマッチングプラットフォームサービス「スペース」を展開。

個室でプライバシーが守られる点や、遊休資産の有効活用という点で各メディアにも注目され、近年急速にサービス利用が進み、既に累計利用者60万人を突破。施設登録数は約2,000室を数える。

同社は、世界で元もアクティブなシード投資ファンドである米国の 500 Startups およびその日本向けファンド 500 Startups Japanから出資を受けた国内初の共同出資案件。

直近の動き

2017/3/27 総額2億円の第三者割当増資を実施。遊休スペースをワンストップで収益化できる「だれでも会議室」をスタート



グループ外（シェアリングエコノミー関連）

EXTERNAL INVESTMENT

これ縫って!をお願いできる縫製 クラウドソーシング

洋服のリメイクやオーダーメイド、ショップオーナー様のオリジナル商品製作からサンプル縫製まで、縫製に関わるあらゆる依頼をプロの職人に依頼できる縫製クラウドソーシングサービス「nutte(ヌッテ)」を運営。

たった1点からフルオーダー可能。洋服はもちろん、雑貨類やリメイクもプロの縫製職人が対応。

自作イラストをワッペン化する「ブルマリ」、キャラクター衣装を制作販売する「coscrea(コスクレア)」も運営開始。

直近の動き

- 2016/10/11 総額1億円の第三者割当増資を完了
- 2016/12/6 ヤマト運輸と連携し、依頼者から職人への「資材直送サービス」開始
- 2016/12/19 アクセルマーク社と共同で「コスプレ事業」に参入
- 2017/2/16 新サービス「ブルマリ」プレビュー版開始
- 2017/2/22 新サービス「coscrea(コスクレア)」を開始



グループ外（シェアリングエコノミー関連）

EXTERNAL INVESTMENT

訪日外国人向けの観光ガイドマッチングサービスを展開

政府の「日本再興戦略 2016」が掲げるシェアリングエコノミーの推進と、訪日外国人増といった外部環境の変化をいち早く捉えた事業。

「友だちをつくることから旅を始める」をコンセプトに、通訳と現地案内人のペアと、訪日外国人をマッチングする、体験共有型のシェアリングエコノミーサービス『TOMODACHI GUIDE』を訪日外国人向けに提供。

旅行者の旅に寄り添い、旅の相談に乗りながら旅程を自由に作り上げ、画一的ツアーでは生み出せない本物の感動と地域の魅力溢れた体験を提供。

直近の動き

- 2016/10/14 大分県並びに別府市に立地表明書を交付 訪日観光客の受入れ体制構築に向け協働
- 2016/12/21 ビジョン社が第三者割当増資を引き受け、業務提携を実施
- 2017/2/2 東急電鉄と「TOMODACHI GUIDE」を活用した外国人観光客動向調査を実施



Huber.

株式会社Huber

グループ外（シェアリングエコノミー関連）

EXTERNAL INVESTMENT

素敵なランニングコースやイベントを 簡単検索

旅先や知らない土地でもおすすめのランニングコースを見つけられる、ユーザー投稿型のWEBサービス「Run trip」を提供。

ランニングをもっと身近に感じられるよう、ライフスタイルとしてのランニングを提案し、ビギナーからシリアスランナーまで楽しめるWEBマガジン「ラントリップマガジン」を運営。

直近の動き

2016/11/2 京都産業労働局の第3期アクセラレーションプログラムに選定

2017/3/27 「Runtrip(ラントリップ)」のiOSアプリをリリース



グループ外（シェアリングエコノミー関連）

EXTERNAL INVESTMENT

「日本の魅力」と「ありがとうの感謝の輪」を世界に広げていく体験ステイサービス

社寺での滞在・体験を通して、日本文化の魅力を多くの訪日外国人や若い日本人へ伝え、非日常的で有意義な体験ができるプログラム「OTERA STAY」を運営。

華道、香道、着付などの日本文化体験に加え、精進料理などの日本食体験など、本物の日本の良さに触れる機会を提供。

今後「OTERA STAY」では、社寺と地域の新たな繋がりとブランド認知向上に努め、5年で1,000社寺の展開を目指す。

直近の動き

「未来づくり。」をキーワードとしたTOKYOアクセラレーター2016
(ビジネスコンテスト)でアライアンス賞を受賞



グループ外（当社の卒業生が起業した企業への投資）

EXTERNAL INVESTMENT

日本のポップカルチャーの世界発信や、海外向けECを展開

日本が誇るポップカルチャーであるアニメやマンガ文化の世界発信や、海外向けECを展開。シリコンバレーのシードアクセラレーターとして知られる『500 Startups』はじめ、米国の著名個人投資、官民ファンドのクールジャパン機構から出資を受ける。2014年、クールジャパン機構からは、今後3年間で最大で15億円の投資枠設定に合意し発表。

直近の動き

- 2016/10/20 日本文化に精通したアメリカやカナダ出身の英語ネイティブで構成される翻訳チームによる翻訳サービスを提供開始
- 2016/11/24 中国の越境ECモール「天猫国際(Tモールグローバル)」内に仮想現実(VR)を活用した店舗を開設。
- 2016/12/21 りらいあコミュニケーションズと業務提携
- 2017/2/27 クラウドファンディングプラットフォーム「Tokyo Mirai Mode (トーキョーミライモード miraimode.com)」をオープン



グループ外（当社の卒業生が起業した企業への投資）

EXTERNAL INVESTMENT

世界初の後付型スマートロックロボット「Akerun」を提供

Akerunは、アプリを用いてスマートフォンで鍵の開錠・施錠、ゲストへの開閉権限の発行ができるサービス。電子錠よりも手軽かつ安価に導入できるオンライン鍵管理システムとして、オフィスや店舗などの法人向けに販売。

当社が創業時から出資するほか、2015年は(株)ジャフコ、YJキャピタル(株)、(株)ベータカタリストからも4.5億円を調達。

直近の動き

- 2016/10/25 iPhone7がカードキーになる！～Suica対応にともない、かざすだけでAkerunの入退室管理が可能に～
- 2016/12/22 「Akerun Pro」のレンタルを開始
- 2017/2/16 ワーキングコミュニティ「co-ba」とAkerun APIを使ったハッカソンを開催



グループ外（当社の卒業生が起業した企業への投資）

EXTERNAL INVESTMENT

日本最大級の人間ドック・健診予約サイト「マーソ」を運営

健康に過ごすことができる時間（健康寿命）の延伸をミッションに、医療 × IT × マーケティングという新しい事業領域での活動。

医療施設の掲載数では、国内最大級となる人間ドック・健診予約サイトの運営を行う。また、日本の医療を商品化し訪日中国人旅行者向けに提供する健診予約サービスや、医療施設向けに専門・特化したホームページパッケージなどのサービスも提供。

直近の動き

- 2016/10/7 アデコ社より健康診断支援サービス事業を事業譲受
- 2017/2/23 株式会社スマートバリュー業務提携し、自治体向けクラウド型健診・検診予約サービス提供へ
- 2017/4/12 子会社を通じ資金調達を実施

